

## 7. チベット語の文法書

辞書の話をしたので、文法書の話もします。これはきわめて「おたく」な領域なので、多くの人には関心がないかもしれませんが、ひょっとしたら本気で仏典チベット語を勉強してみようと思う方もおられるかもしれないので、書いておきます。

まず、最初に知っていただきたいのは、現代チベット語と古典チベット語とは、ちょうど現代日本語と古典日本語が違う程度に違っているのです。仏典を読もうとするなら現代チベット語の文法書は役に立ちません。古典（文語）チベット語の教科書としては、

### 福田洋一『チベット語文語文法』

が圧倒的にいいと思います。これはインターネット上で手に入れます。だから無料です。

<http://fukuda.tibetan-studies.net/otani/kodoku/>

にあります。福田先生、ありがとうございます。文例がすべて仏典というものすごい本です。

英語のものだと、

**Joe B. Wilson: "Translating Buddhism from Tibetan" (Snow Lion)**

というすばらしい本がありますが、800ページもある大著で、読むのが大変です。

文法書があるなら読本もあるだろうということなのですが、どうせディクン・カギユ派の文献しか読まないの、それだったら、私が翻訳しているのの原文を読まれるのがいいと思います。もっと他のものも読んでみたいと思われるなら、

## **"A Pearl Rosary Sadhana Collection" (Vajra Publications)**

という経典集があります。これは、ディクン・カギユ派のさまざまな修行用の経典のコレクションで、英訳と、英語の解説本がついています。『観音菩薩成就法』や『白ターラー菩薩成就法』も含まれていますが、3月のセッションでやるものよりはうんと簡略化されたものです。指導を受けないで実施するのは危険なので、チベット語の読本としてだけお使いになるようにお勧めします。

<http://vajrapub.com/>

へ行って、shop のページを見てください。この他にも、さまざまなものを売っています。